

様式第 2 号

令和 4 年 3 月 25 日

宮崎県知事 河野 俊嗣 様

宮崎市まなび野 3 の 5 の 1
公立大学法人宮崎県立看護大学
理事長 稲用 博美

ピアカウンセリング事業実績報告書

ピアカウンセリング事業の実績報告について、宮崎県と公立大学法人宮崎県立看護大学とが令和 3 年 4 月 1 日付けで締結した業務委託契約書第 10 条の規定により、次の関係書類を添えて報告します。

- 1 事業実績書（別紙 1）
- 2 委託料精算書（別紙 2）
- 3 その他参考となる資料（資料 4）

別紙 1

事業実績書

1 事業名

ピアカウンセリング事業「ピアカウンセリングの効果的な実施について」

2 事業の目的

本学の別科助産専攻学生をピアカウンセラーとして養成し、県内の中学生や高校生に対し、思春期の特徴や心とからだの発達等に関する知識を伝え、主体的な行動変容を促すことにより、10 代の妊娠・人工妊娠中絶、性感染症の問題等への有効な施策の推進を図る。

3 事業の概要

1) ピアカウンセリング講座実績

保健所	学校名	学年	人数	日程
日向保健所	諸塚村立諸塚中学校	1～3 年生	28 名	2022 年 2 月 28 日
小林保健所	えびの市立加久藤中学校	3 年生	41 名	2022 年 3 月 10 日
都城保健所	都城市立姫城中学校（Zoom）	3 年生	101 名	2022 年 3 月 10 日
都城保健所	都城市立小松原中学校	3 年生	86 名	2022 年 3 月 11 日
中央保健所	国富町立本庄中学校	3 年生	68 名	2022 年 3 月 14 日

2) 新型コロナウイルスの為ピアカウンセリングが中止となった中学校

高鍋保健所	西都市立穂北中学校	3 年生	25 名	2022 年 3 月 1 日
都城保健所	都城市立志和池中学校	3 年生	62 名	2022 年 3 月 7 日

2) ピアカウンセラーの養成及びピアカウンセリング講座の実施状況

健康増進課より依頼のあった中学校 7 校に、中学校が希望する日程と大学の実施可能な日程の調整を行った結果、上記 7 校で行う予定であった。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、最終的には、上記 5 校の合計 324 名の中学生にピアカウンセリングを実施できた。

別科助産専攻学生（以下別科生）をピアカウンセラーとして養成するために、7 月までに自主的に同意の得られた 15 名全員の学生が受胎調節実施指導員の資格を修得するための講義と演習を行った。その後、6～10 例の分娩介助、妊婦の保健指導、褥婦に沐浴指導と家族計画などの退院指導を実施することによりピアカウンセラーとしての質向上に努めた。さらに、ピアカウンセラー養成セミナーとして、きら助産院院長の助産師

である白池晶先生に講義を頂いた。

ピアカウンセリング講座実施前には、5 中学校の養護教諭と担当教員、2～3 名の別科生、4 名の大学教員とピアカウンセリングのプログラム内容の検討を Zoom と Teams による遠隔会議を 2～3 回行った。その後、大学内で中学校の要望に沿って、思春期における問題（性・自己尊重）などについて正しい知識を身につけ、相手ばかりでなく自分の心と身体を守りながら人生設計ができるようになることを目指した。内容としては、講義形式の講座のみでなく、妊婦体験、新生児の抱き方・おむつ交換、妊婦模型の胎児触診、胎児心音聴取、性感染症をイメージするための水回し実験など、中学校では体験できないことを企画した。

しかし、2 月 22 日に新型コロナウイルス感染防止の目的で 2 中学校はピアカウンセリング事業が中止となった。残りの 5 中学校は、校長先生をはじめ、養護教諭と担任の先生のご協力もあり、遠隔講義に備えて予行練習も 3 中学校は実施した。最終的には 2 中学校は対面講義、3 中学校は遠隔講義（Zoom：2 校/Teams：1 校）のピアカウンセリング講義が実施できた。さらに、対面での体験コーナーでは、新型コロナウイルス予防対策として、別科生と中学生の全員がマスクを着用し、人数分のアルコール準備、人数分の使い捨て手袋とガウンの装着も実施した。

最後に全体としては、講座に対する中学校のニーズは高かった。別科生は、都城保健所管内 3 名、延岡保健所管内 1 名、中央保健所管内 9 名の合計 13 名が、宮崎県内の新人助産師として就職した。今後は、宮崎県内の各施設で助産師として経験を重ね中学生と高校生の思春期教育に貢献できることが期待できる。今回は、中学生が、性行動の場面においても互いの価値観を考えて行動するための動機作りになった。また、別科生をピアカウンセラーとして養成することも出来た。令和 4 年度も、別科生と対面講義・遠隔講義のどちらの方法にも対応し、事業の目的を達成できるように考えたい。